

令和6年度 第1回 郡山小学校 学校運営協議会 議事録

1 日時 令和6年5月10日(金)19:00~20:30

2 場所 コンピュータ室

3 あいさつ(学校長、委員長)

⇒事前に委員長・副委員長選出・承認

○委員長より

・学校運営協議会の役割についての説明を ⇒教頭より説明。

・学校再編準備委員会が発足したが、学校運営協議会とどのようにリンクしているのか。どのように反映されていくのかによりここでの議論の持つ意味が変わってくる。

⇒この後のあいさつの中で学校長より説明。

○学校長より

・学校再編により「新たな小学校」がつくられることになる(別紙資料)。すでに合川小では複式学級の学年がある。現状は学校運営協議会と準備委員会とは直接つながっていない。保護者代表(PTAより2名)の方では、事前にアンケートを実施し意見集約を図っている。

・学校内部では気づきにくい点について、外部から指摘を頂けることは有意義。地域連携について、中学校より小学校は進んでいる。新1年生へのサポートや登下校・遠足の見守り等地域の方々のご尽力により子どもたちも落ち着いている。

4 協議内容

(1) 令和6年度学校経営方針について(あいさつに引き続き学校長より提案)

○「令和6年度 学校経営改革の方針」(別紙)により学校長から提案。

⇒概ね昨年度と変更はないが、中学校区連携推進の意味で中学校区のめざす子ども像を追加する。また、今年度より鈴鹿市で「非認知能力」の育成に向けた取組を推進していくため、各項目に「非認知能力」の4観点の該当する項目を追加。併せて、ICTに関する項目で「協働的な学び」を追加。「新学習指導要領」という文言は削除(「新」ではない)。

・交差点で登校見守りをしている際、危険な行為をしている子を見かけて注意するが、なかなか注意を聞かない。しかし、信号前で校長先生の姿が見えると行為をやめる。どのような声かけがいいのか?

⇒子どもたちとまず初めにルールを確認することや「I(アイ)メッセージ」で伝えることを大切にしている。子どもが注意を聞かなかった状況について、3通りの状況(①わざと聞かなかった②注意集中が注意する側の人に向いておらず聞き逃した③決定権の所在を理解していない(例:行為の善悪を判断するのは大人))が考えられる。

学校で「注意を素直に聞く」という指導をする。子どもたちの不適切な行動については引き続きご指導いただき、指導が困難な場合は迷わず学校へご連絡を。学校・地域が同じ方向で取組を進めていくことを大切にしたい。

・放課後子ども教室等でも、学校の枠が外れることで、子どもたちに指導が入らない場面が見られ困ったことがある。読み聞かせの時も「まずルールの説明」から入る。楽しく過ごせるよう子どもたちとルール確認することは大切。

(2) 郡山小学校の取組みについて

⇒教頭よりスライド(PP資料)にて報告

- ・入学式・始業式・身体測定・授業参観(PTA総会)・遠足・1年生を迎える会等
- ・授業風景、掃除・給食、ゲストティーチャー(鈴鹿法人会・学校支援ボランティア等)
- ・新1年生の様子(登校支援等)

5 連絡事項

・年間計画(修学旅行・社会見学等日程)、学校運営協議会の日程について確認

・学校支援ボランティアの実働者把握について ⇒ アンケート実施

・「作志(つくし)のへや」再開について

⇒昨年度(第6回)協議した「作志(つくし)のへや」再開について(別紙参照)、5月中の再開をめざし周知を行いたい。また、保護者や地域へ広く募集するために配布する「学校支援ボランティア登録のお願い」チラシの中でも「作志のへや」について触れたい。

6 教育支援課より

・今回の協議の第1は学校長提案の「学校経営方針」の承認。これを受けて様々な取組が進んでいく。「非認知能力の育成」については、新しい取り組みということではないが、意識した取組が重要で、経営方針とリンクさせ、今後の方向性を明示したと理解できる。

・子どもたちの様子について、委員の皆様には、可能な機会に直接子どもたちの様子を見ていただき、気になった点について活発に議論することが子どもたちの健全育成につながる。

・学校支援ボランティアの方々に様々な機会に学校を支えていただき大変ありがたい。「作志のへや」再開の話も含め今後も地域と連携した取組が進むことを期待したい。

7 その他

・学校再編準備委員会と学校運営協議会がどのようにリンクしているのかについて

⇒学校運営協議会での協議内容について担当課へ伝える。